

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0866
 住 所 川崎市川崎区水江町4-9
 氏 名 鹿島道路(株)・日本道路(株)・世紀東急工業(株)
 川崎アスコン共同企業体 印
 統括所長 細川昭浩
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	鹿島道路(株)・日本道路(株)・世紀東急工業(株) 川崎アスコン共同企業体		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区水江町4-9		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容			
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,334	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

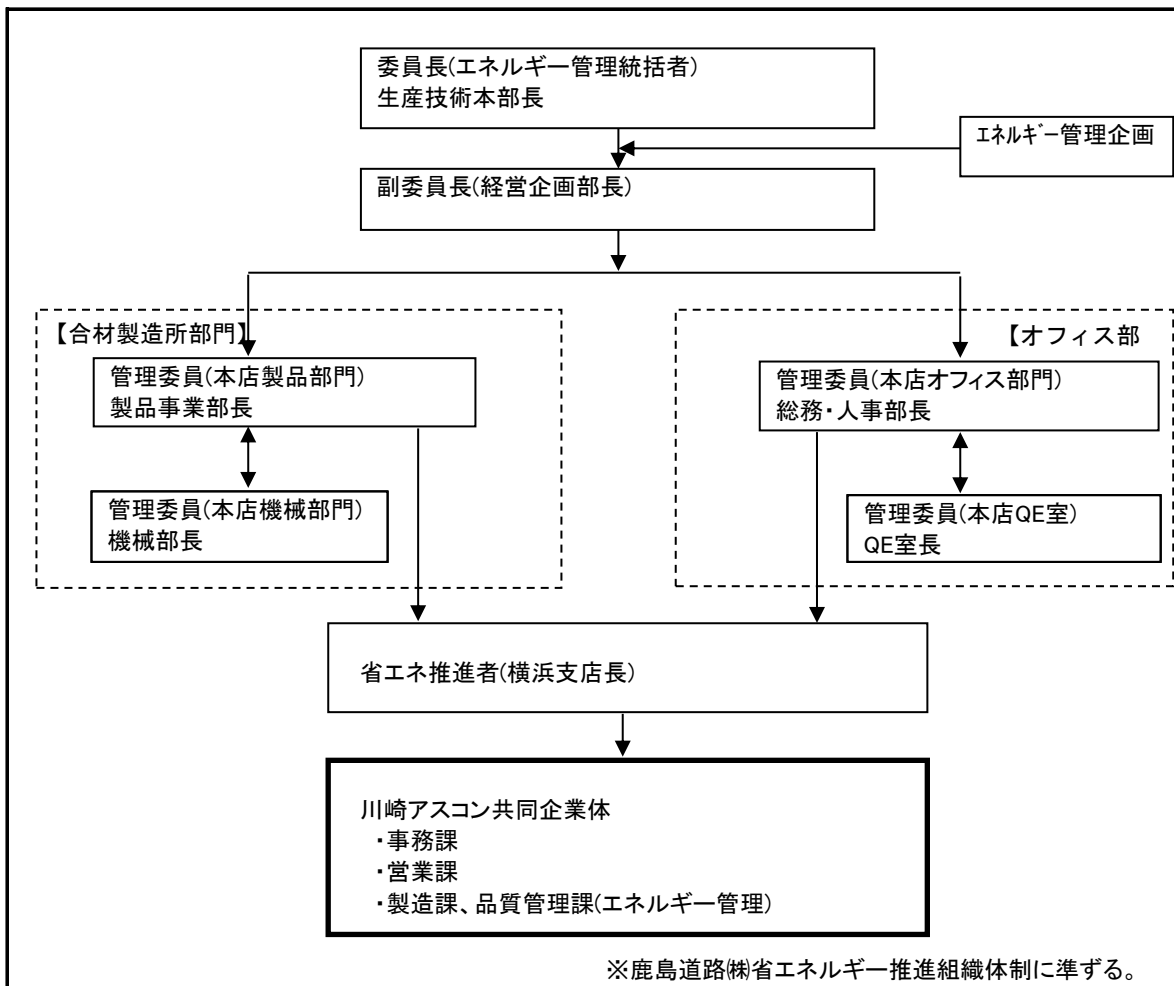
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

事業者全体基本方針
1. 省エネルギーを実現するため「エネルギー管理規定」に基づき、エネルギーの使用の合理化を推進する。
2. エネルギー使用量の状況把握と使用方法の監視及び改善を継続的に行う。
3. 設備の新設及び更新時は低公害、高効率、省エネ機器の採用を検討する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

軽油、ガス、電力の使用量を毎月把握・監視し数値が不良の場合、その原因を追究し所内のエネルギー管理会議で発表、検討を行い、改善を行う。
設備更新等時はメーカーと当方設備担当者・代表者と綿密な打合せを行い低公害、高効率、省エネ機器を導入する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2021				年度
目標	年度	2024				年度
基準	排出量	(実) 4,457 (調) 4,462	t-CO ₂	(実)	(調) t-CO ₂	
目標	排出量	(実) 4,414 (調)	t-CO ₂	(実)	(調) t-CO ₂	
削減量		(実) 43	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実) 20	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実) 23	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実) 1.0	%	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		合材・破砕量			
原単位の単位		t-CO ₂ / t			
基準年度の値		0.02654			
目標年度の値		0.02627			
削減率		1.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

目標年度における目標排出量は、基準年度と同程度の製造量を想定し、基準年度に対して1%の削減を目標値とする。なお、目標排出量原単位は、特定温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ合材・破砕製造量（t）を対象とし、基準年度に対して1%の削減を目標値とする。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	1. 新型バーナの導入 2. 製品の中温化・フォームド化(製品温度を下げバーナの燃費向上)の検討
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

1. 場内照明約130台すべてをLEDタイプに入替 2. 新規入替のモータはトップランナー仕様のものを採用。 3. 3台あるスクリーコンプレッサを2台運転に変更。 4. 既設脱臭炉更新時に新型大容量脱臭炉に入替 5. 定期的な骨材乾燥炉内部清掃の励行 6. 定期的な燃焼設備周辺の清掃 7. 今までバーナ4基合計のガス使用量管理を4基個別で管理するようにした。 8. 熱交換器前金網フィルタの定期的な清掃 9. 事務所コピー機を省エネタイプに更新 10. 事務所空調設備温度設定見直し 11. 無駄な照明の消灯

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	○	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	○	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	保有するプライベートバスにおいて、原料である骨材・砂の搬入とリサイクル製品の搬出を船舶による海上輸送で行うことにより、トラックの出入り（陸上輸送）を減少させ、環境負荷の低減に貢献している。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,457	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,334	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎アスコン共同企業体	川崎市川崎区水江町4-9	4,457 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂